

りっぷる Ripple

エスコープ大阪機関紙

第267
4
25. .28

野菜の産地を維持・拡大しよう!

生活クラブ関西6生協は、2017年に「生活クラブ関西6生協青果政策」を策定し、持続可能な生産と消費をすすめるため、青果物の統一化に順次取り組んできました。統一化最後の分野となる野菜の取り組みが2025年11月より始まります。統一後はエスコープ大阪で長年食べてきた地場野菜生産者「菜食ファーム」の『旬菜セット』も『野菜セット・ベジくる』へと変わります。

『野菜セット・ベジくる』スタートにより、「菜食ファーム」は関西6生協の生産者となり、野菜を供給する組合員が増えます。エスコープ大阪の組合員には、新しい生産者が増えます。野菜を作る仲間と食べる仲間の両方を増やすことで、持続可能な生産と消費の取り組みをより強固なものにし、食の安心・安全を次の世代にも引き継いでいきます。今号の1面では『野菜セット・ベジくる』生産者のうち近郊の4生産者を紹介し、2面では新しくなる野菜の取り組みを取り上げます。(消費担当常務理事 山路 登葉)

※生活クラブ関西6生協:2生協+4生協
2生協:エスコープ大阪、生活クラブ都市生活
4生協:生活クラブ大阪、生活クラブ京都エール・コープ、生活クラブ奈良、生活クラブ滋賀

さいしよく 菜食ファーム

生産者●17名(30~80代)
所在地●大阪府堺市、和泉市、河内長野市、大阪市

【現在の出荷】
エスコープ大阪の地場野菜『旬菜セット』、2生協のカタログ野菜



約半世紀にわたり、エスコープ大阪と作付け会議をし、組合員・職員が畑訪問をしながら大阪の農地を守り、地場野菜のセット供給に取り組んできました。地域委員会と「チャレンジ野菜」に取り組み、『旬菜セット』の品目を充実させ、2024年度は野菜の統一に向けた取り組みとして『セット野菜・ベジくる』の栽培基準で新たな品目の実験栽培に取り組みました。『野菜セット・ベジくる』では、2番目に出荷点数が多い生産者になります。

NPO法人 伊賀有機 農産供給センター

生産者●9名(20~50代)
所在地●三重県伊賀市

【現在の出荷】
4生協のセット野菜『やさいBOX』



安定した運営をめざし、単なる出荷団体ではなく、作る人と食べる人がともに生き方を模索する仲間であるという意識を持ち、NPO法人として2012年に再出発しました。伊賀有機農産供給センターでは、①「自然・すべての生き物とともに生きたい」、②「暮らしを自らの手に/生きるスベを身近に持とう」、③「自らやる/私がやる」の3つを大切にして、循環農法・露地栽培・無農薬無化学肥料で作物を作っています。『野菜セット・ベジくる』の約3割の野菜を出荷する計画で、出荷点数がもっとも多い生産者になります。

あいさい 愛菜会

生産者●6名(50~70代)
所在地●兵庫県神戸市

【現在の出荷】
生活クラブ都市生活の契約野菜『畑の便り』



自然に逆らわず、その季節に無理なく作ることができる旬の野菜を中心に、農薬に頼らない農業をしています。旬を大切にすることで、野菜に含まれる栄養や味が一番良い状態になると考えていますが、組合員のニーズに応えるために、人の力が及ぶ範囲内で旬をずらす努力もしています。『野菜セット・ベジくる』では、3番目に出荷点数が多い生産者になります。

きたあまあいのう 北阿万愛農会

生産者●4名(50~80代)
所在地●兵庫県あわじ市

【現在の出荷】
『よやく・玉ねぎ』、生活クラブ都市生活の契約野菜『畑の便り』、2生協のカタログ野菜



あわじ市には酪農農家もあり、「循環農業」を心がけています。米を作り、米は人間が、稲わらは牛が飼料として食べます。牛糞は堆肥として田畑に還元し、土づくりをしています。化学肥料で育てた野菜は病気に弱いため農薬に頼ることになりますが、化学肥料を使わなければしっかりとした野菜になり、農薬も必要ないという考えで野菜を作っています。『野菜セット・ベジくる』では、4番目に出荷点数が多い生産者になります。

上記4団体以外の『野菜セット・ベジくる』の生産者

- ①(有)島原自然塾(長崎)
- ②(有)白州森と水の里センター(山梨)
- ③(株)水の子(熊本)
- ④(株)肥後やまと(熊本)
- ⑤(有)茨城BM(茨城)
- ⑥(株)AgriGRAND(熊本)
- ⑦(有)津軽産直組合(青森)
- ⑧(有)肥後れんこんの里(熊本)
- ⑨(株)産直南島原(長崎)
- ⑩(株)米沢郷牧場(山形)
- ⑪山本農園グループ(和歌山)
- ⑫四万十きの子会(高知)
- ⑬夢産地 とさやま開発公社(高知)
- ⑭農事組合法人 八峰園(青森)
- ⑮いわみ地方有機の会(島根)
- ⑯(有)肥後あゆみの会(熊本)



食べる仲間も増やそう!

『野菜セット・ベジくる』の生産者は20団体(左欄参照)になります。これまで6生協がそれぞれに取り組んできた生産者を結集することで、より安定した生産・供給が実現します。『野菜セット・ベジくる』は「栽培期間中、化学合成農薬・化学肥料(窒素成分)不使用」という厳しい栽培基準で作られる野菜です。病虫害のリスクがあるなか、生産者が努力して作った野菜を余すことなくしっかり食べ切れるよう、私たち組合員も食べる仲間をみんなで増やしていきましょう!

この秋より 野菜の取り組みが変わります!

生産者の高齢化や後継者不足に加え、近年では気候危機の影響が深刻化し、農作物は年々作りにくくなっています。第一次産業が抱える課題に取り組むため、生活クラブ関西6生協は一丸となって産地の維持・拡大を目指し、持続可能な生産と消費を推進しています。

この秋から野菜の取り組みは、「セット野菜」(よやく・る)中心に変わります。それぞれの生協がこれまで提携してきたセット野菜の生産者を中心に、

関西6生協全体で取り組む『野菜セット・ベジくる』の生産者として統合します。またこれまで2生協[※]だけで取り組んでいたカタログ野菜(自由注文)を、4生協[※]も利用し、生産者が作り続け、組合員が食べ続けられる取り組みを関西6生協の仲間と共にすすめていきます。

※2生協: エスコープ大阪、生活クラブ都市生活

4生協: 生活クラブ大阪、生活クラブ京都エル・コープ、生活クラブ奈良、生活クラブ滋賀

「セット野菜」の 生産者が増えます!

エスコープ大阪が「菜食ファーム」とこれまで取り組んできた地場野菜を維持・拡大する考えは、関西6生協で野菜の取り組みを統一した後も変わりません。『野菜セット・ベジくる』の生産者は近郊生産者が中心の20団体(表紙参照)になります。各生産者が産地の栽培時期に応じた野菜を作ること、農薬を減らし、端境期による欠品も減らせます。

「セット野菜」の 栽培基準が 変わります!

現行(『旬菜セット』)の栽培基準は、「栽培期間中は農薬不使用、または大阪府エコ農産物栽培基準の2分の1以下」ですが、関西6生協統一後(『野菜セット・ベジくる』)は「栽培期間中、化学合成農薬・化学肥料(窒素成分)不使用」に変わります。

カタログ野菜の栽培基準表示は、その野菜をつくる生産者の中で一番低い(農薬・化学肥料使用の多い)生産者に合わせた表示になります。また、有機認証を受けている野菜と栽培期間中農薬・化学肥料不使用の野菜を区別せず、

どちらも「無・無」と表示し、国が定める認証制度ではなく生産者と関西6生協で決めたことを証明する二者認証の考えを大切にします。

「セット野菜」を 登録して 食べよう!

「セット野菜」統一の1年後には関西6生協で1万2053セット(うちエスコープ大阪2561セット)まで登録数を増やすことを目標に、私たちは産地の維持・拡大をすすめます。秋からの統一スタートに向けて、現在関西6生協それぞれが取り組んでいる「セット野菜」の登録数を増やすことを決定しており、統一

関西6生協の 野菜(セット野菜・カタログ野菜)の「政策」

1. 生産者

これまで同様、北海道から沖縄県まで全国展開。

2. 栽培基準

- ①化学合成農薬を使用しない栽培への転換を目指す
- ②化学肥料を使用しない栽培への転換(有機肥料への転換)を目指す
- ③環境ホルモンの疑いのある農薬を禁止
- ④土壌消毒剤・除草剤の制限、不使用
- ⑤水耕栽培の作物は取り扱わない
- ⑥加温栽培を制限

3. 取り組み方

『野菜セット・ベジくる』の登録利用を中心に、カタログ野菜(自由注文)も取り組む。

4. 教育・共育の場としての農業生産現場との関わりを持つ。

エスコープ大阪では、各地域委員会では5〜7月に「セット野菜」使い切り講習会などの企画開催(表参照)と班訪問や班会議を予定しています。「週1回まとまって届くセット野菜をどうやって使いこなすのかしら?」という方は、ぜひ地域の企画に参加して疑問を解決してください。「セット野菜」を利用することで産地の維持・拡大を図り、次の世代にも安心して食べられる野菜を一緒につないでいきましょう!

までに関西6生協で1万6399セット(うちエスコープ大阪で2326セット)を達成します。

野菜の取り組みに向けた地域活動

地域名	企画
泉北ニュータウン	『旬菜セット』使いこなし料理会 ▶6月中開催予定 エスコープ大阪本部
泉州	『旬菜セット』のミニセット、ファミリーセットで調理してみよう! ▶7/1(火) 浪切ホール
河内長野・大阪狭山	「セット野菜」の簡単で使いやすい調理法、保存、使い回しなどの実習 ▶5/22(木) 河内長野市立市民交流センター キックス ▶6/28(土) 大阪狭山市立公民館
南河内	『旬菜セット』使いこなし料理会 ▶5/17(土) 堺市立美原文化会館
大阪市南・中河内	『旬菜セット』でカレー作り! ▶6月中開催予定 クレオ大阪中央

※地域企画の詳細は各地域ニュースでご確認ください。

『旬菜セット』を登録しておおぜいの組合員で利用しよう!!

- **ファミリーセット** (4~5人家族向け)
6~9品目程度 1,700円前後
- **ミニセット**
3~6品目程度 1,000円前後

▶ 栽培基準

栽培期間中農薬不使用、または大阪府エコ農産物栽培基準の1/2以下。

『旬菜セット』の登録は、配達担当者、またはお電話(072-293-4660)でお申し込みください。

ファミリーセットの例



南河内地域
簡単時短調理会
3月1日(土)
堺市立美原文化会館
(堺市美原区)

南河内地域理事
山田 恵子



消費材で簡単時短調理

おいしい」「かつおもタレもおいしい」「鶏レバーはくさみもなく、今度買います」「イタリアンドレッシング」がすし飯に使えるなんて、次に作ってみたいです」などの感想をいただきました。

「南河内地域の消費委員会」のメンバーから、「簡単に時短で食べる」とができる消費材を紹介したい」という意見があり、おすすめ消費材や新登場の消費材を使った簡単時短調理会を開催しました。

ご飯にかけるルーローハン風、いわしのアヒージョ風パスタ、トマトソースパスタ、かつお漬け丼、豚の角煮、レバーハンバーグ、ベビーリーフのサラダの7品を紹介しながら調理しました。電子レンジで温める、湯せん、自然解凍、フライパンで炒めるなどの調理法で、切る、洗うなどの下準備を除くと合計35分ででき上がりました。

「鶏肉のにおいが苦手ですが、エスコープ大阪の鶏ムネ肉はおいしい。自家製の玉ねぎ麴に漬けてカレー粉をまぶして焼きます」「肉厚わかめ」は市販の乾燥わかめと違って、肉厚でおいしい」など。次から次へおすすめ消費材の話が尽きず和やかに交流ができました。

大阪市南・中河内地域
コーヒー学習会
2月22日(土)
住吉区民センター
(大阪市住吉区)

大阪市南・中河内地域委員
平尾 香織



コーヒーの楽しみ広がる学習会

方や抽出の仕方によって、甘みや苦みを調整することができ、より自分好みのコーヒーを淹れることができます。参加者は、緊張の面持ちでコーヒーを淹れ、それぞれの違いを注意深く味わっていました。吉川さんは、たくさんの質問に、ひとつひとつ

「知れば知るほどおもしろくなるコーヒーの世界」と題し、コーヒー学習会をおこないました。当日は7名の参加があり、盛況でした。吉川さんがコーヒーインストラクターの資格を取得したのは、なんと2年前におこなった「コーヒー焙煎ワークショップ 珈琲工房まめ福」(以下、まめ福)の生産者交流会がきっかけだそうです。

講座では、「ワーカース・コレクティブ」というまめ福の運営方法や、まめ福が供給しているコーヒー豆について学んだ後、淹れ方の実習と試飲をおこないました。豆はまめ福のグアテマラ、東ティモール、キリマンジャロの3種類を用いました。キリマンジャロは粗め・細かめと挽き方の違うものも試しました。豆の挽き

最後に、3種類のコーヒーをそれぞれ好みの割合でブレンドし、消費材のスイーツやハムとの組み合わせを楽しみました。きっと、自分好みのコーヒー豆を見つけることができただけではないでしょうか。私も、これまでなんとなく飲んでいたコーヒーの楽しみが、とても広がりました。早くも「また次回を」との声が上がりました。また次回を」との声が上がります。早くも「また次回を」との声が上がります。早くも「また次回を」との声が上がります。

たまり場サークル
たまり場
毎月第3火曜日
10時~14時
風来里 (堺市南区)

たまり場サークル代表
平岡 朱美

**手仕事を楽しむ
たまり場**



言葉から決まりました。毎月1回、風来里で活動しています。

結成当初は、簡単な古いTシャツから作る指編みの小物やネクタイで作るネックレスを製作したり、ベーコンやオレングジビールを作ったり

「たまり場サークル」は、泉北ニュータウン地域の理事が風来里で開催していた企画に参加したメンバーが「風来里を活用してみないか」との声をかけられたのが結成のきっかけです。名前は「大人がほっとできるたまり場になつたらいいね」というメンバーの

りしました。だんだんとパッチワークやポジャギ(パッチワーク風の縫い合わせが特徴の韓国の伝統的な

布)を織りを利用した小物作りや「閑張」(いっかんばり)、柿渋染など、メンバーが得意なことを教え合うようになり、「風来里だより」で



心になり、ポジャギの壁飾りを作っています。時には神戸へポジャギの材料を購入に行ったり、和泉市の「さの森」の見学にも行きました。

午後からはお茶とお菓子をいただきながらおもしろかった本の紹介や貸し借り、生協の消費材やカタログ「スクロール」の雑貨の感想などを言い合い、おしゃべりを楽しんでいます。私自身メンバーから刺激を受け、「たまり場サークル」は生活スタイルや価値観・人生観などを学ぶひとつの場所になっているのではないかと

「質」を大事に!

職員さんが
自己紹介!!



東 翔輝(28歳)
エスコープ大阪在籍年数1年2ヵ月
[共同購入フロア 泉北支所]

私は小学3年生から大学を卒業するまでずっと野球をしていたこともあり、食べることに関しては正直「質より量」というタイプだったので、エスコープ大阪で働くようになり「質」も気になるようになり、今まで気にしていません。今までの食生活を見直そうになり、教わることで関心が深くなってきました。

また、1歳の子どもがいるので、何より口にするものを考えてあげないといけないと感じています。自分たちよりも、これから大きく成長していく子どものために組合員の皆さんにも教えてもらいながらも、勉強していきたいと思っています。そんな私が好きな消費材は、がつり肉です! 中でも豚肉が好きです。入協して初めて豚肉を食べた時、純粋においしさを感じました。お肉自体の味がしっかりとっていて、スーパースーパーには比べ物にならないおいしさを感じました。

**エスチャンネルで魅力を知った
旬菜セットが毎週楽しみです!**

紹介します!!
うちの地域の
組合員さんです

幸島 汐香さん
[泉北ニュータウン地域]



幸島さんは、私と同じマンションに住んでいるママ友で、食に関心のある方です。最近、地域委員会企画の「エスチャンネル」にほぼ毎回参加されておられ、組合員歴が長い先輩主婦の方々や同年代のママたちといろいろなお話ができ、心がとても良かったそうです。生活クラブで取り扱っている消費材のこだわりや私たちがの手に届くまでの工程、市販商品との違いなどを深く知ることができ、購入する消費材の幅が広がったそうです。

エスチャンネルに参加したからこそおすすめしたい消費材は「旬菜セット」だそうです。「とにかく野菜がおいしい

です。野菜そのものの味がよくわかります。野菜が苦手な3歳の娘も食べられる野菜が増えました。3人家族でミニセットを毎週利用しています。が、今まで買ったことのない野菜も届いたりするので、今週は何が届くかなと楽しみです」とキラキラした表情で語ってくれました。



第9回 理事会報告 <3月5日>

【1月度決算報告】

- 供給高 2億353万円(前年同月比88.6%) ※1日少ない
- 組合員数 18,662名(前月比△36名)
- 一人当たりの出資金 93,677円

【2月の放射能検査結果】

2月は連合消費材489検体、関西消費材6検体の放射能検査を実施しました。エスコープ大阪供給分で生活クラブ自主基準を超えた検体はなく、すべての消費材を供給しました。

【決議事項】

- ①総代会開催について
- ②エスコープ大阪サポートセンター常勤職員の賃金改定

【協議事項】

- ①ワーカーズ・コレクティブかぐや姫の共同購入業務委託契約書の改定
- ②全体区の推薦者決定と地域区の推薦状況の確認
- ③2024年度組合員拡大活動のまとめと2025年度のすすめ方
- ④2024年度担い手づくりのまとめと2025年度のすすめ方
- ⑤エスコープまつり2025
- ⑥2025年度方針・活動計画を地域組合員で確認する会で活用する資料について
- ⑦2025年度「生活クラブでんき」スイッチングの呼びかけ
- ⑧大阪渋谷麦酒(発泡酒)のエスコープ大阪独自材取り組みに向けて
- ⑨1月新加入者対象「グリーンシステムキャンペーン」まとめに向けて
- ⑩ワーカーズ学習会のまとめ

【報告承認事項】

- ①2024年度年末年始取り組み単協活動報告&意見要望書
- ②「福祉たすけあい活動支援制度」最終報告書

編集後記

2月の岩手県大船渡市から、3月には愛媛県今治市、最近では箕面市と、大規模な山火事が続いています。この間の乾燥と大風が原因かと言われていますが、燃え続ける映像を見ていると、自然の猛威の前には人間は無力だと感じます。自然に対してもっと優しくしないと、取り返しのつかない大きなしっぺ返しを食らうのではないかと怖くなります。

(Y)

生産者紹介

いっしょに創る未来

奈良県北葛城郡上牧町

吉田農園 吉田憲弘さん・紘代さん



おひろ、ハウスの中には稲わらを敷き、収穫が終わったら稲わらも一緒にすき込み土づくりをしています。太陽光で土の消毒をおこない、土の

いちごは苗作りから収穫まで18か月かかります。3、4月のこの時期は収穫も忙しいですが、来年の苗を作る大切な時期でもあります。いちご作りで一番緊張するのがこの苗作りです。苗のでき具合によって一年の収量が決まってしまうので、ちゃんと育てているかこまめに確認します。

私たちは、以前から生産者と組合員が直接顔を合わせて議論し、一緒に消費材を作り、運動をすすめてきましたが、生協設立から50年以上経ち、世代変わりしている生産者も増えてきました。そこで、このコーナーでは次世代の生産者や「近畿親生会」の生産者に抱負などを語っていただきます。

80年前に祖父がこの地でいちご栽培を始め、私で3代目になりました。農園のある奈良盆地はいちご栽培に適した土地です。以前は全国で作付け面積が第3位になったこともあり、大阪で就職する若者が増えて、いちごの作り手が少なくなりました。私の農園では祖父のころから化学肥料は使わず、有機で土耕栽培をしています。土で作ることにこだわって

おいしく食べられる「あすカルビー」という品種を主に栽培しています。その他、「古都華」、「珠姫」、「ならあかり」、「奈乃華」なども生育の比較をするために実験的に栽培しています。

祖父の代からのいちご畑を引き継ぐ

中の微生物も大切にしています。受粉は蜂をレンタルして、蜂にしてもらっています。

吉田農園では、甘みがあり

しくなるのですが、この頃の夏の暑さは異常で、葉や実が焼けてしまい、実の付きが悪くなってしまうこともあります。気候が変わってきていることを感じます。私たちのいちごを楽しみに待っていてくれる組合員の皆さんのために、これからも欠品をしないように、おいしいいちごを作っていきます。

農場訪問しました

4月1日(火)、7組の組合員家族と一緒に吉田農園を訪問しました。

ハウスに入るといちごの甘い香りが充満。吉田さんからおいしいいちごの見分け方を教えてもらい、たくさんいちごをいただき、幸せな気分になりました。いちごは、粒の間隔が広く、首の部分がくびれていて肩の部分が膨らんでいるのがおいしいそうです。

おたよりネット

「りっぷる」の感想やご意見、その他投稿は下の「おたよりネット」欄で。配達時に提出、あるいは店舗の専用BOXまで。

264号1面「『令和の米騒動』を教訓に今と未来の食卓のためにできること」を読んで

泉北ニュータウン地域 Kさん

昨年の米不足は日本全国の人たちが不安になったと思います。そのような中でも生協は「よやくる」が止まらないように供給してくれています。「生産者が安定して生産できるように組合員が食べる約束をする、市場に左右されない安定した収入が保障される仕組み」は本当に大切なことだと

思います。「よやくる」の登録を続けることで、生産者が安心、組合員もまた同じようなことが起きても安心できると思います。みんなで「よやくる」で利用しましょう。

※現在、米の「よやくる」は、新規の予約を受け付けていません。

Ripple おたよりネット

消費材の苦情についてはこの用紙でなく、電話またはメモで。この欄への投稿・ご意見は紙面でご紹介することがあります。

理事会事務局行き 267号(2025.4.28)

(ペンネームOK)

●地域名

●組合員コード

●お名前